

長久手市行政評価票 (A票: 事業評価票)

事業番号	71	事業名	中央図書館事業	担当部課	教育部中央図書館
基本情報	第6次総合計画・基本目標		2 子どもが元気に育つまち		
	行政改革指針・重点課題		1 経営改革の推進		
	法定受託事務の有無		無		
	その他(関係計画、要綱等)		有 図書館法、第2次長久手市子ども読書活動推進計画		
	事業開始の背景、経緯等		市民の読書活動を支える場として、平成4年に開館した。		
市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可 (両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 図書館法に基づき、図書等を収集、整理、保存し、市民に提供する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民を始めとする図書館利用者。貸出対象は、市在住、在学、在勤、在園者と広域地区利用者(瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊田市、名古屋市長久手区、守山区)。
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の読書環境の向上

項目	単位	区分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
			(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)
事業費(A)	千円	予算	92,309	96,705	97,375	97,548	94,584
		決算	88,861	93,885	94,146	150,717	
人件費(B)	千円	決算	46,719	57,342	56,601	61,443	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	135,580	151,227	150,747	212,160	
事業対象の数(D) (R3年度は想定数)	人		87,512	84,643	85,455	84,036	84,800
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		2	2	2	3	

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
			(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)
市内利用者の貸出冊数	冊	目標	320,400	330,000	328,000	273,200	303,000
		実績	311,642	322,229	303,403	252,490	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
長久手市民への個人貸出の貸出総冊数の増減が、長久手市民の利用状況を端的に表しているため。			(R3.31の人口) × (H29~R2の市民一人あたりの貸出冊数の平均値) = 60,035人 × 5.05冊 ≒ 303,000冊				
(前年から指標を変更した場合はその理由)							
(前年までの指標)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館を4~5月に実施したため、市内利用者の貸出冊数はR1年度よりも約17%減少した。1日あたりの貸出冊数もR1年度の1,167冊と比較し、1,039冊で減少している。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 感染対策を行いながら子ども読書活動推進事業を進めた。おはなし会などが集まるイベントは実施できていないが、ブックスタートバックは条件をゆるめてカウンターで配布する工夫をした。ICシステムの導入作業を実施し、令和3年4月から運用開始する。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 感染対策をした上で、6~9月に貸出冊数・期間を5冊2週間から10冊4週間へ拡大し、令和2年度に中止していた小学3年生図書館見学の受入やAVルームなどの貸館を再開する。

事業を構成する事務事業①	中央図書館運営事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込		85	85	90	90	90
		実績		82				
(2) 【アクションプラン】 中央図書館での小学生までの貸出冊数【単年】	冊	見込		143,000	146,000	150,000	151,000	151,000
		実績		96,750				
(3) 【アクションプラン】 郷土資料等の資料数【累計】	冊	見込		8,200	8,650	8,700	8,800	8,850
		実績		8,603				
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> ・読み聞かせボランティア養成講座(第5回目)を3/16に実施 ・図書修理・返本書架整理ボランティアは、人数や時間を制限して開館日に随時参加 ・郷土資料数は前年度から約450冊増加							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	中央図書館運営事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
		実績						
(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	中央図書館運営事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
		実績						
(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性	

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 第2次子ども読書活動推進計画の目標達成のため、実施できていない事業については感染対策を施した運営方法で再開を目指し、学校や児童館等との連携事業を継続する。読み聞かせなどの図書ボランティアと引き続き協働しながら、市民参加型の図書館運営を継続する。
中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 学校連携事業の強化や、PRなどを積極的に実施し、R5年度までに中央図書館での小学生の貸出冊数を、年間約3,000冊増加させる。郷土資料を年間50~100冊収集し、充実をはかる。ICシステム導入による効果として不明本数や蔵書点検にかかる日数等の減少を検証していく。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、事業実施にあたっては長久手市みんなでつくるまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・行政改革の重要課題事業第1弾に基づく管理の見直しについて取り組んでください。 ・ICチップ、セルフレジの導入にあたり効果検証を行ってください。
内部意見への回答	